

## 2003年飛鳥祭ゴミ対策提案書

2003年飛鳥祭のゴミ対策について、学祭実行委員さんへ提出した提案書です。

### 目的

私達エコプロジェクトは、ゴミ問題やエネルギー問題などの身近な環境問題を、自分たちのキャンパス内から考えていこうという自主ゼミです。

昨年学祭では、他大学の学祭でのゴミ対策について展示発表し、飛鳥祭についても調査しました。近頃では一般社会でもゴミの分別・

リサイクルがますます重要視され、他大学の学祭などでも次々と新しい取り組みがなされています。飛鳥祭でのゴミ対策は、以前に比べればかなり進んできたと思います。しかしまだまだ不十分な点が多く、力を入れれば取り組める事がもっとあるのではと感じました。

今回、昨年学祭での分別回収の問題やその改善点を述べる事で、今後の飛鳥祭における分別回収制度の向上、そしてそれを通して、学生をはじめ地域の人々のゴミ問題に対する意識の向上に役立てればと思います。

### 2002年度飛鳥祭でのゴミ回収の状況

ゴミ箱には各ゴミの種類が表示がありましたが、専用のゴミ箱がないゴミも数種類ありました。また、分別表示のあいまいさが来客者の混乱を招き、結果的に再分別に手間を取られることになっていました。ゴミの量に対してゴミ箱が小さかったことや、回収率がゴミの量に追いついていなかったという問題もみられました。

### 主なゴミの種類別問題点と対策

ここではまずその種類と間違われた原因について述べたいと思います。そして後でも述べますが、エコプロジェクトは今年学祭から、昨年の缶・ペットボトルのリサイクルに加え、割り箸・発泡スチロールトレイのリサイクルを提案したいと思います。これらのリサイクルを実行することになれば、ゴミ箱の形体や表示の仕方、回収方法などの改善が必要となるので、ゴミの種類別にそれらを挙げてみました。

【割り箸・竹串・プラスチックスプーン】

割り箸・竹串・プラスチックスプーンは、主にトレーを使用した模擬店で配られました。それぞれ専用のゴミ箱が無かったため、食べ終わった後そのままトレー専用のゴミ箱と一緒に捨てられていました。

(割り箸の改善点)

割り箸をリサイクルする場合、割り箸専用のゴミ箱を設置する必要があります。投入口を細くするなどの工夫をすると効果的だと思います。

(竹串・プラスチックスプーンの改善点)

割り箸・トレーをリサイクルする場合、竹串やプラスチックスプーンなども専用のゴミ箱を設置する必要があります。こういった付属品として軽く見られがちなゴミや素材の分かりにくいゴミほど、専用のゴミ箱を設置して再分別の負担を軽くする必要があります。

【トレー】

模擬店で使用されたトレーは、白色の発泡スチロールトレーと透明のプラスチックのもの2種類でした。ゴミ箱はそれぞれ絵が書かれたものが用意されていましたが、どちらも文字では「トレー」と表示されていたので、絵が目立たず混ぜて捨てられていました。

(改善点)

材質の表示不足が問題だった発泡スチロールトレー・プラスチックトレーについては、文字の表示だけでなく、イラストや写真、現物のサンプルをつけるなどの工夫が効果的だと思います。

【燃えるゴミ・燃えないゴミ】

燃えないゴミについては、どのゴミが燃えないゴミに分類されるのかという定義自体が不鮮明でした。食べ残しなどの生ゴミや、缶・ペットボトル・トレーなどが燃えないゴミに捨てられていたり、お菓子の袋(うまい棒の包み)が燃えるゴミのゴミ箱に捨てられていたり、捨てる人の勘違いが目立ちました。

(改善点)

分別するゴミ以外の燃えるゴミ・燃えないゴミは、ゴミの種類を細かく表示する必要があります。模擬店を中心に、会場から出るゴミの種類を事前に調査・予想し、それに合わせたゴミ箱の工夫が必要です。現物のサンプルをつけると効果的だと思います。

【生ゴミ】

模擬店で食べ物を販売すると、必ず食べ残しなどの生ゴミが出ます。前回は生ゴミ専用のゴミ箱は無く、燃えるゴミや燃えないゴミに混ぜて捨てられていました。中には汁気の多いものもあり、ゴミ箱自体が汚れたりゴミ袋を回収する際に不衛生です。

(改善点

汁気を切るためのザルをつけた専用のバケツなどを用意すれば解決すると思います。

## 新制度導入の提案

他大学の学祭での色々なゴミ対策を調べたところ、少しの工夫でゴミを減らせるものがいくつかあり、ぜひ飛鳥祭でも

取り入れてみたいものがあつたので提案します。

飛鳥祭の特徴などを考慮したうえで、新しいゴミ対策を1つでも導入できればと思います。

### 1. リサイクル容器の導入

毎年模擬店で使用される食品トレーですが、この量は相当なものです。リサイクルすればゴミの大幅な原料につながります。

リサイクルしやすいものとして、次のものを簡単に紹介します。

[PSP 容器]

洗ってリサイクルに出す、スーパーなどで回収している発泡スチロール容器。

[非木材紙トレー]

バガスや竹などの非木材パルプから作られた容器。土に埋めると自然分解する。

[紙製二重構造容器(ホっかる)]

容器の表面にフィルムが貼ってあり、使用後はフィルムを剥がし、容器本体は古紙リサイクルへ、フィルムはゴミとなる。

リサイクルの際洗う必要がない。

[プラスチック製二重構造容器(ミンミ・リ・リパック)]

構造は上のホっかると同じで、表面に薄いフィルムが貼ってある。使用後は粒上のペレットに再生され、再び容器になる。

フィルムは燃えるゴミへ。

### 2. MY箸・MY皿運動

せめて近大の学生には、使い捨てでない自分の箸や皿を持ってきてもらおうというもの。

### 3. 割り箸のリサイクル

割り箸専用の回収箱を設置して集めた割り箸は「王子製紙」などに送れば、パルプ化しリサイクルすることができます。

割り箸との交換で、紙やトイレトペーパーをもらえる場合があります。

#### 4. デポジット制の導入

例えば200円のおでんの場合、トレー代として10円プラスし、210円で販売します。そして食べ終わった後トレーを返却すると、トレー代の10円が戻ってくるというものです。

#### 5. エコステーションの設置

今までのように、場内のあちこちに小さなゴミ箱を設置するのではなく、目立つ大きなゴミ捨て場を、監視員付きで数箇所用意します。

ゴミを捨てに来た人にゴミ問題について考えてもらえるような展示・イベントを行うなどの工夫をしてもいいと思います。

#### スタッフについて

もし今年の飛鳥祭でこれらの新しいゴミ対策を導入することになれば、ゴミの回収・監視・分別などに人手が必要となります。

そこで私達エコプロジェクトを「学祭ゴミ対策メンバー」として自治会のゴミ対策係に加えていただけないでしょうか。

近大農学部には、環境サークルのようなものが幾つか存在します。そういうところへも呼びかけ、皆で協力して裏側もキレイな学祭にしませんか。

どうかよろしくお願いします。